

平成31年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年6月12日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東
 コード番号 3995 URL https://skiyaki.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮瀬 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03 (5428) 8378
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第1四半期の連結業績（平成30年2月1日～平成30年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第1四半期	690	—	47	—	43	—	26	—
30年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 31年1月期第1四半期 25百万円 (—%) 30年1月期第1四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第1四半期	12.94	12.91
30年1月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成30年1月期第3四半期より四半期財務諸表を作成しているため、平成30年1月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第1四半期	2,672	1,154	43.0
30年1月期	2,911	1,160	39.6

(参考) 自己資本 31年1月期第1四半期 1,148百万円 30年1月期 1,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	—	—	15.00	15.00
31年1月期	—	—	—	—	—
31年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年1月期の連結業績予想（平成30年2月1日～平成31年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,075	23.6	300	23.7	307	42.1	206	13.4	95.92

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期1Q	2,078,400株	30年1月期	2,078,400株
② 期末自己株式数	31年1月期1Q	52株	30年1月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期1Q	2,078,383株	30年1月期1Q	－株

（注）当社は、平成30年1月期第3四半期より四半期財務諸表を作成しているため、平成30年1月期第1四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、今後の動向は依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、アーティストに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、アーティストグッズ等のECサービス及び電子チケットサービス「SKIYAKI TICKET」の取扱いアーティスト数及び提供サービス数を増やし、取引規模を拡大させて参りました。また、FC、EC、TICKET、旅行及びイベント等の既存サービスに加え、スマートフォン向けキャッシュレス決済サービス「SKIYAKI PAY」のリリースや、事業譲受によりライブ・イベントの同行者を探せるSNSサービス「AMIPLE」を取得するなど、新たなサービスチャネルの展開を開始し、自社プラットフォームユーザーの利便性向上のための取り組みを強化しました。これにより、平成30年4月30日現在における当社のプラットフォームの総登録会員数は170万人を突破しました。

FCサービスについては、サービス数及び有料会員数ともに前連結会計年度末比で増加し、売上高の増加に貢献しました。当該売上高の増加に伴い、プロダクション向けロイヤリティ及び決済代行業者向け回収手数料等の変動費が増加しました。

ECサービスについては、アーティストによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第1四半期連結累計期間においては、サービス数は増加したものの、商品の出荷金額が伸びず、売上高が前年同期比で減少しました。

また、人員数の増加及び昇給に伴う人件費の増加等により、販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高690,925千円、営業利益47,799千円、経常利益43,241千円、親会社株主に帰属する四半期純利益26,895千円となりました。

セグメント及び事業のサービス別の売上高については、以下のとおりであります。

①プラットフォーム事業

a. FCサービス

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費を売上高に計上するストック型ビジネスであることから、安定的かつ継続的な収入が見込まれるという特性を有しております。

当第1四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は533,799千円となりました。なお、FCサービスは、売上高を総額計上しております。

b. ECサービス

ECサービスは、有料会員又は無料会員からインターネットを通じて注文を受けた商品を出荷した時点で売上高を計上するフロー型ビジネスであることから、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。

当第1四半期連結累計期間においては、サービス数は増加したものの、出荷金額が前年同期比で減少したことにより、ECサービスの売上高（販売手数料収入）は131,821千円となりました。なお、ECサービスは、当社が受領する販売手数料収入を売上高として純額計上しております。

c. その他

その他の売上高は、SKIYAKI TICKET、SKIYAKI GOODS及びSKIYAKI PAYのサービス提供、クラウドファンディング・プラットフォームサービスの提供、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供及びサイト構築及び運営業務の受託等により、19,424千円となりました。

②その他事業

その他事業の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社である(株)ロックガレージにおける旅行・ツアー事業及び(株)リアニメーションにおけるイベント企画・制作事業等であります。その他事業の売上高は、アーティストのファンクラブ旅行パッケージ販売収入及びDJイベントのチケット販売収入等により、5,880千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,672,335千円となり、前連結会計年度末に比べ239,627千円減少しました。

流動資産については、主に売掛金の回収及び預り金の支払等による現金及び預金の減少181,726千円、売掛金の回収による減少137,061千円等により、前連結会計年度末に比べ240,070千円減少し、2,497,309千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が14,962千円、無形固定資産が49,352千円、投資その他の資産が110,711千円となり、前連結会計年度末に比べ443千円増加し、175,026千円となりました。これは主に、他社より事業を譲り受けたAMIPLE事業に係るのれんの増加9,722千円、持分法による投資損失計上に伴う関係会社株式の減少6,492千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、1,517,800千円と前連結会計年度末に比べ233,693千円の減少となりました。

流動負債については、ECサービスの予約商品に係る前受金の増加55,574千円、主にECサービスに係る預り金の支払による減少331,364千円等により、前連結会計年度末に比べ233,543千円減少し、1,516,750千円となりました。

固定負債については、(株)リアニメーションが計上している長期借入金の返済により、150千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,934千円減少し、1,154,535千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益26,895千円の計上及び剰余金の配当31,176千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間における連結業績が概ね当初計画どおりに進捗していることから、平成30年3月15日の「平成30年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,948,642	1,766,916
売掛金	456,956	319,895
商品	—	318
前払費用	293,526	323,359
その他	44,371	92,670
貸倒引当金	△6,116	△5,850
流動資産合計	2,737,379	2,497,309
固定資産		
有形固定資産	15,257	14,962
無形固定資産	40,885	49,352
投資その他の資産	118,440	110,711
固定資産合計	174,583	175,026
資産合計	2,911,963	2,672,335
負債の部		
流動負債		
買掛金	344,009	364,323
1年内返済予定の長期借入金	600	600
未払法人税等	32,827	19,417
預り金	890,365	559,001
前受収益	350,681	383,826
その他	131,810	189,581
流動負債合計	1,750,293	1,516,750
固定負債		
長期借入金	1,200	1,050
固定負債合計	1,200	1,050
負債合計	1,751,493	1,517,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,267	553,267
資本剰余金	527,267	527,267
利益剰余金	72,184	67,903
自己株式	—	△346
株主資本合計	1,152,718	1,148,091
非支配株主持分	7,751	6,444
純資産合計	1,160,470	1,154,535
負債純資産合計	2,911,963	2,672,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)
売上高	690,925
売上原価	453,579
売上総利益	237,345
販売費及び一般管理費	189,546
営業利益	47,799
営業外収益	
受取利息	91
業務受託料	360
貸倒引当金戻入額	1,981
その他	220
営業外収益合計	2,653
営業外費用	
持分法による投資損失	7,207
その他	3
営業外費用合計	7,211
経常利益	43,241
税金等調整前四半期純利益	43,241
法人税、住民税及び事業税	15,787
法人税等調整額	1,865
法人税等合計	17,653
四半期純利益	25,588
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,307
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,895

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年2月1日 至 平成30年4月30日)
四半期純利益	25,588
四半期包括利益	25,588
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	26,895
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,307

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業(注)	合計
	プラットフォーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	685,044	5,880	690,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,184	—	1,184
計	686,229	5,880	692,109
セグメント利益又は損失(△)	50,999	△3,105	47,894

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における旅行・ツアー事業及びイベント企画・制作事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	50,999
その他事業の利益又は損失(△)	△3,105
セグメント間取引消去	353
のれんの償却額	△448
四半期連結損益計算書の営業利益	47,799